

令和5年度 島田市総合計画市民意識調査の結果について（報告）

1 調査の概要

市民意識を調査し結果の経年変化を分析することにより、施策の評価や総合計画の進捗管理をすることを目的とする。

調査対象：市内在住の18歳以上の男女2,500人  
 調査方法：郵送調査法（WEB回答も可）  
 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出  
 ※WEB回答数は256件（昨年度：212件）

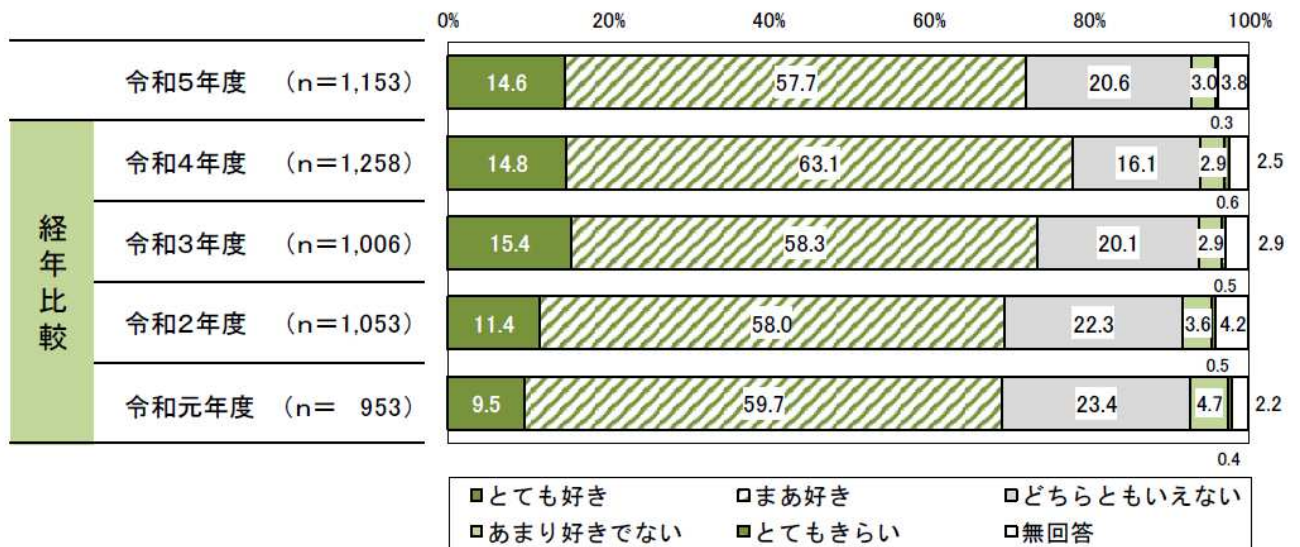
実施期間：令和5年6月1日～6月30日  
 有効回収数：1,153票（前回1,258票）  
 有効回収率：46.1%（前回50.3%）

2 調査結果

●島田市での暮らしについて

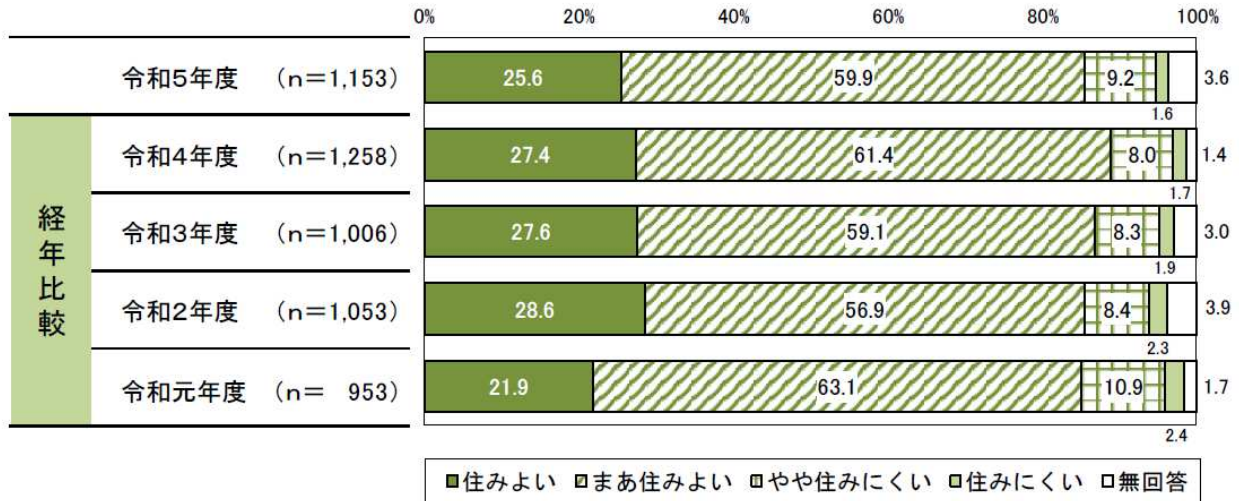
島田市に対する好感度について、72.3%が『島田市のこと好き』と回答しています。

「とても好き」14.6%、「まあ好き」57.7%を合わせると72.3%となりました。前回結果（77.9%）と比較して5.6ポイント低くなりましたが、令和3年度以降、7割を超える水準を維持しています。



**島田市の住みごころについて、85.5%の人が『住みよい』と回答しています。**

「住みよい」25.6%、「まあ住みよい」59.9%を合わせると**85.5%**となりました。前回結果（88.8%）と比較して3.3ポイント低くなっていますが、調査を開始した平成25年度以降、8割を超える水準を維持しています。

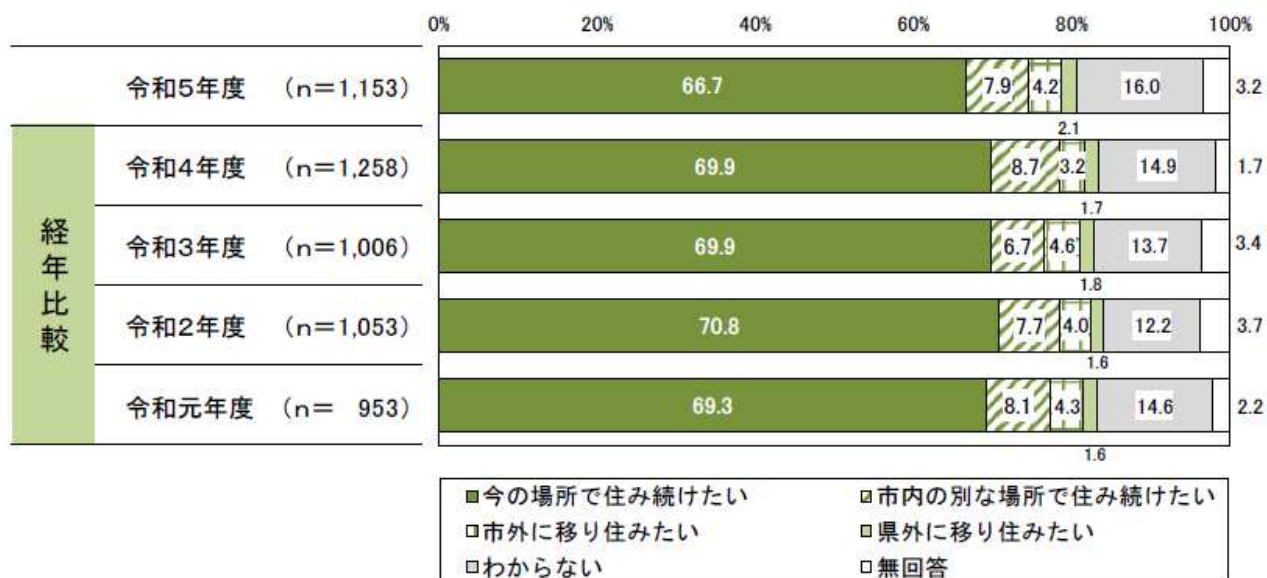


**※県内他市調査結果（参考）**

- ・焼津市…設問「あなたにとって、焼津市は暮らしやすいところですか、それとも暮らしにくいところですか。」(R4)
  - 『暮らしやすい』70.1%
  - 「暮らしやすい」28.4%、「どちらかといえば暮らしやすい」41.7%
  - ※島田市にはない「どちともいえない」という選択肢があります。(19.6%)
- ・菊川市…設問「総合的に見て、菊川市は住みよいところだと感じますか」(R5)
  - 『住みやすい』87.0%
  - 「住みやすい」26.0%、「どちらかといえば住みやすい」61.0%
- ・掛川市…設問「あなたにとって掛川市は住みやすいところですか」(R5)
  - 『住みやすい』80.5%
  - 「とても住みやすい」20.8%「どちらかと言えば住みやすい」59.7%

島田市への定住意向について、74.6%が『これからも島田市に住み続けたい』と回答しています。

「今の場所で住み続けたい」66.7%、「市内の別の場所で住み続けたい」7.9%を合わせると、74.6%となりました。前回結果（78.6%）と比較して4.0ポイント低くなりましたが、調査を開始した平成25年度以降、7割を超える水準を維持しています。



※県内他市調査結果（参考）

- ・焼津市…設問「あなたは、これからも焼津市に住み続けたいと思いますか。」(R4)  
『住み続けたい』73.8%  
「住み続けたい」41.8%、「どちらかといえば住み続けたい」32.0%
- ・菊川市…設問「今後も菊川市に住み続けたいと思いますか」(R5)  
『住み続けたい』67.3%
- ・掛川市…設問「あなたは、今後も掛川市に住みたいと思いますか」(R5)  
『住み続けたい』83.2%  
「今のところにずっと住み続けたい」74.9%、「市内の別の場所に移り住みたい」8.3%

●島田市の取組に対する満足度と重要度について

満足度（点数）※<sup>1</sup>が高いのは、11年連続で「ごみの分別・収集」です。

重要度（点数）※<sup>1</sup>が高いのは、11年連続で「医療の充実」です。

令和5年度 順位	満足度 ※（）内は前回順位	重要度 ※（）内は前回順位
第1位	ごみの分別・収集（1位※ <sup>2</sup> ）	医療の充実（1位）
第2位	資源のリサイクル（1位※ <sup>2</sup> ）	地震・水害など災害に強いまちづくり （3位）
第3位	健康の増進（2位）	ごみの分別・収集（2位）

※1 満足度（重要度）の回答を点数化（5点、3点、0点、-3点、-5点）し、その平均値を計算した指標です。

※2 令和4年度までは「ごみ・リサイクル対策」として集計しています。

令和5年度調査結果において、満足度が低く重要度が高い「重点取組エリア」に属しているのは以下の9項目です。

※「重点取組エリア」とは、各取組の満足度・重要度に応じた散布図を作成した際、満足度が全体の平均値よりも低く、重要度が全体の平均値よりも高いエリアのことを言います。

政策分野1＜防災・福祉・健康＞ (1) 地震・水害など災害に強いまちづくり (5) 障害者が生活しやすい環境づくり	政策分野3＜経済・産業＞ (11)雇用の確保・創出 (14)魅力ある商店街づくりなどの商業振興
政策分野4＜環境・自然・生活＞ (22)公共交通機関の充実	政策分野6＜都市基盤＞ (28)住宅地の整備や良質な住まいづくりの促進 (29)主要な道路の整備
政策分野7＜行財政＞ (35)市の財政の健全運営 (38)公共施設の質・量・管理費の適正化	

※政策分野2＜子育て・教育＞、政策分野5＜歴史・文化・地域＞については、「重点取組エリア」に属する取組はありませんでした。

○昨年度との比較

①昨年度は「重点取組エリア」に属していたが、外れた取組

(15) 農林業の振興

→昨年度と比較して重要度が低下し、重点取組エリアから取組強化エリアに移動

(-) 再生可能エネルギー活用などによる地球環境の保全

→今年度は項目を設けていないため対象外

②今年度新たに「重点取組エリア」に属した取組

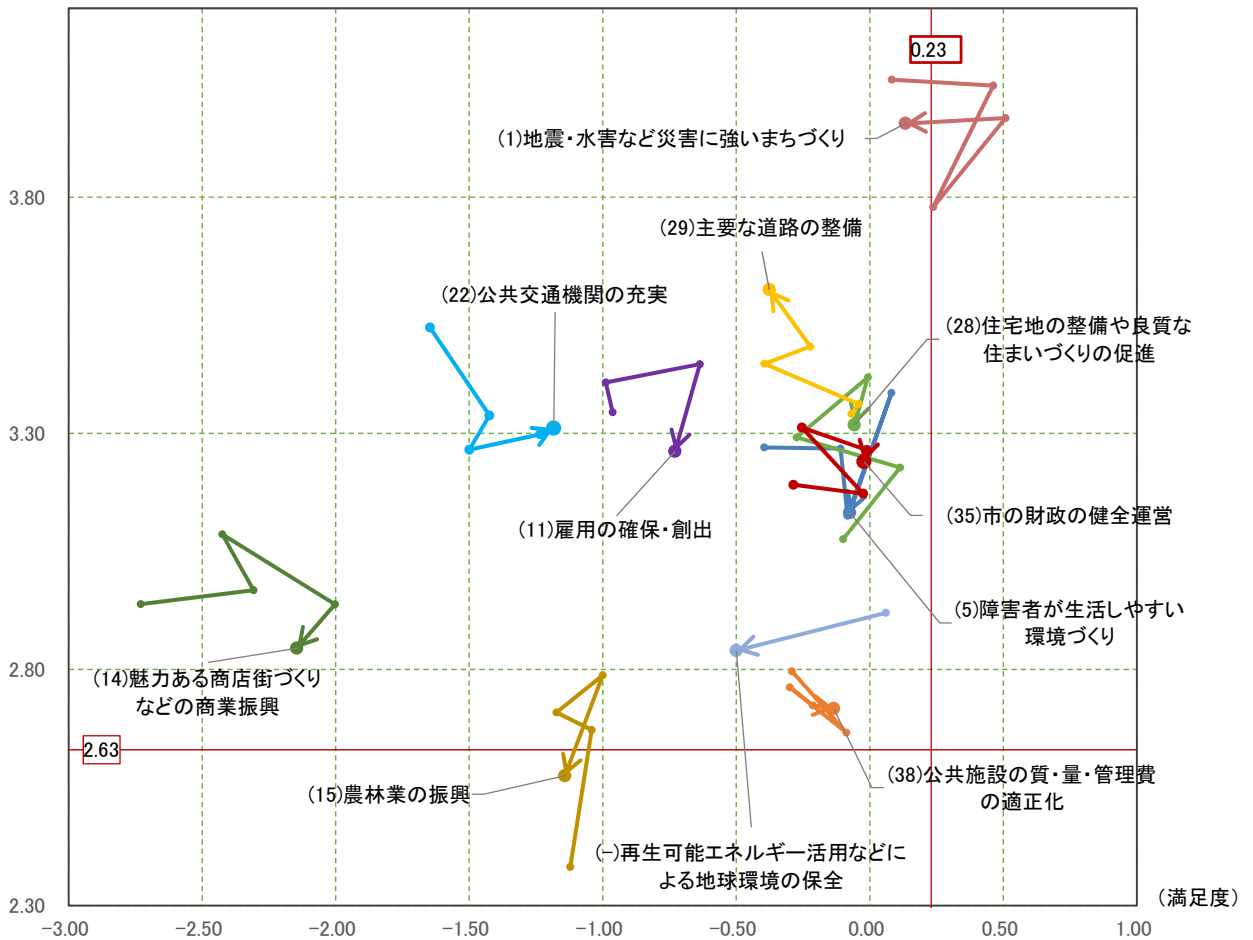
(1) 地震・水害など災害に強いまちづくり

(5) 障害者が生活しやすい環境づくり

(38) 公共施設の質・量・管理費の適正化

(重要度)

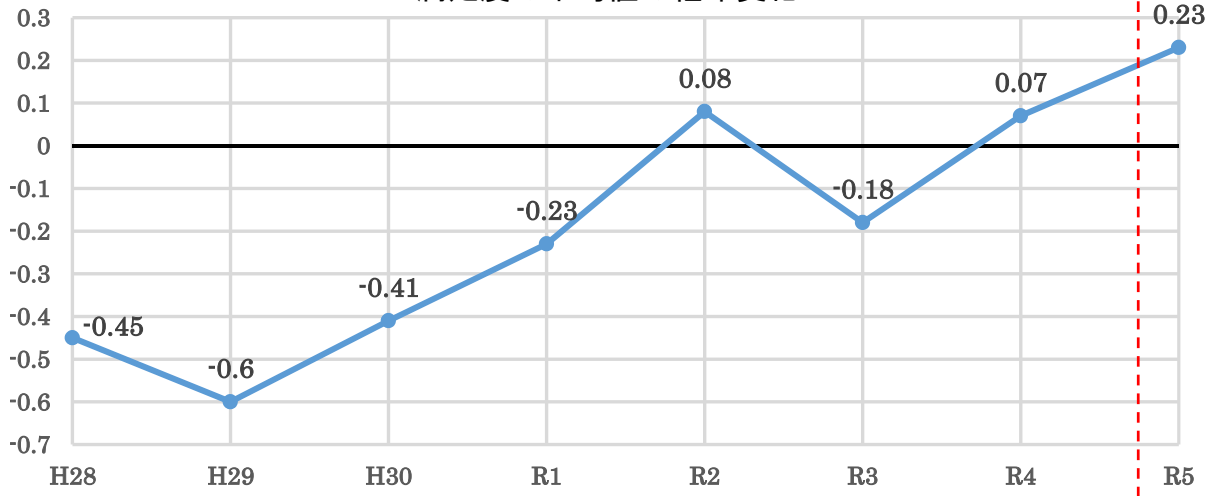
### 経年変化による分析（重点取組エリア）



#### ○グラフの特徴

- ・各項目の動きについて、上下は重要度の増減、左右が満足度の増減を表します。
- ・今年度、満足度の平均値が0.23（R4は0.07）となったため（1）地震・水害など災害に強いまちづくり及び（5）障害者が生活しやすい環境づくりが、重要度の平均値が2.63（R4は2.76）となったため（38）公共施設の質・量・管理費の適正化が新たに「重点取組エリア」に属することになりました。

### 満足度の平均値の経年変化



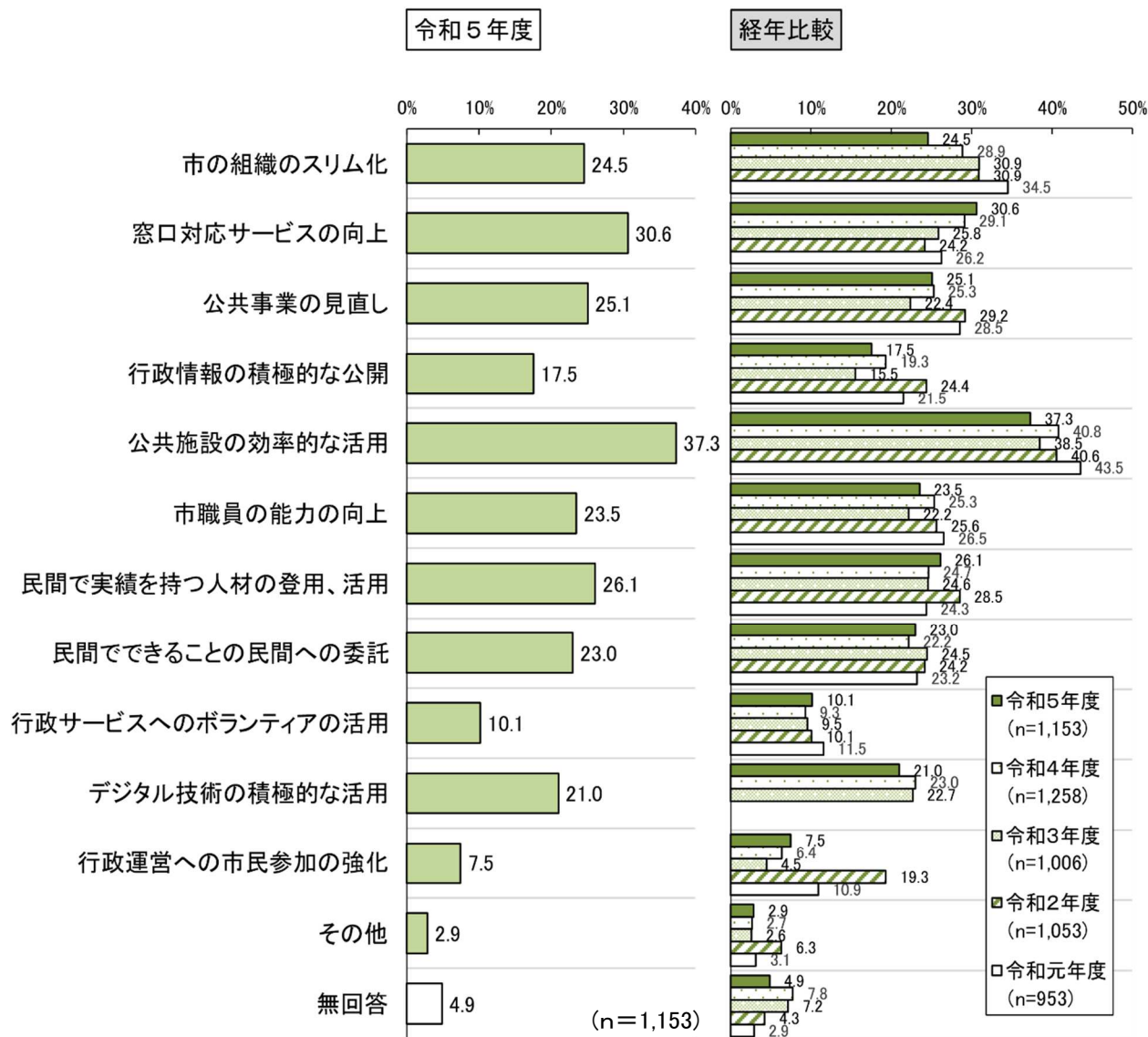
#### ○満足度の平均値

- ・満足度の平均値については、昨年度から0.16ポイント上昇し、過去最高の0.23ポイントとなりました。

●今後の行政運営について

島田市の行政運営について今後望むことについては、「公共施設の効率的な活用」と回答する割合が最も高くなっています。

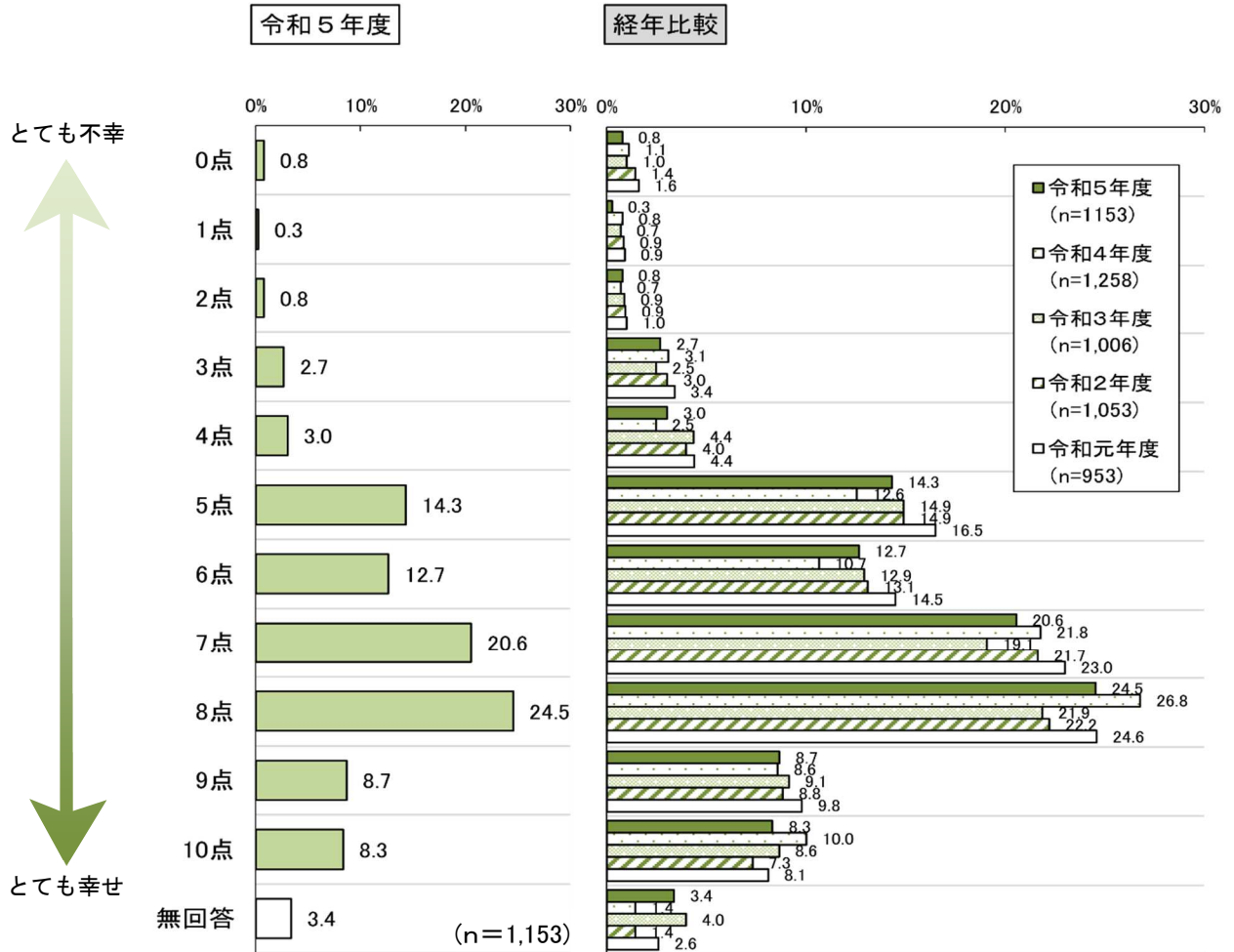
「公共施設の効率的な活用」は直近5年間においても第1位に位置しています。近年、「市の組織のスリム化」が減少傾向、「窓口対応サービスの向上」が増加傾向にあります。



●市民の幸福感について

市民の幸福感を点数化すると、平均6.9点/10点満点（全国平均6.4点）でした。

過年度と比較し-0.1点となりました。なお、回答のばらつき（分散）は例年並みで、平均点を境に前後の得点、5点、6点、7点、8点に回答がまとまる傾向が継続しています。また、男性の平均点よりも、女性の平均点の方が高い傾向に変わりはありません。（男性6.8点 女性7.1点）



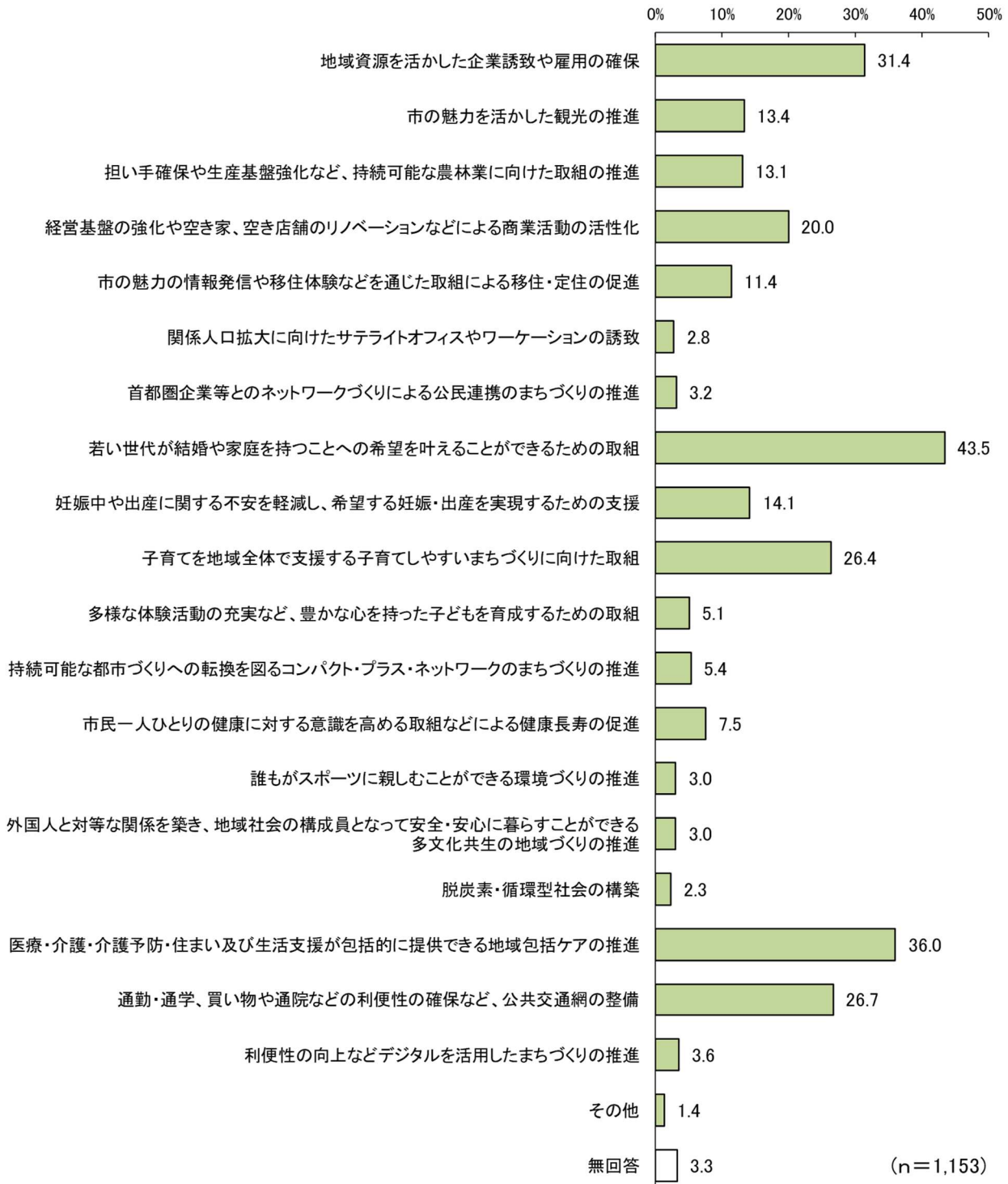
		平均点 (無回答を除く)
島田市	令和5年度	6.9
	令和4年度	7.0
	令和3年度	6.8
	令和2年度	6.7
	令和元年度	6.5
	平成30年度	6.6
	平成29年度	6.6
	平成28年度	6.6
	平成27年度	6.7
	平成26年度	6.6
全国	平成26年度	6.4

		男性平均点 (無回答を除く)	女性平均点 (無回答を除く)
島田市	令和5年度	6.8	7.1
	令和4年度	6.9	7.2
	令和3年度	6.3	6.9
	令和2年度	6.4	6.8
	令和元年度	6.3	6.7

## ●地方創生に向けた取組について

人口減少社会において重要と思われる取組について、「若い世代が結婚や家庭を持つことへの希望を叶えることができるための取組」と回答する割合が最も高くなっています。

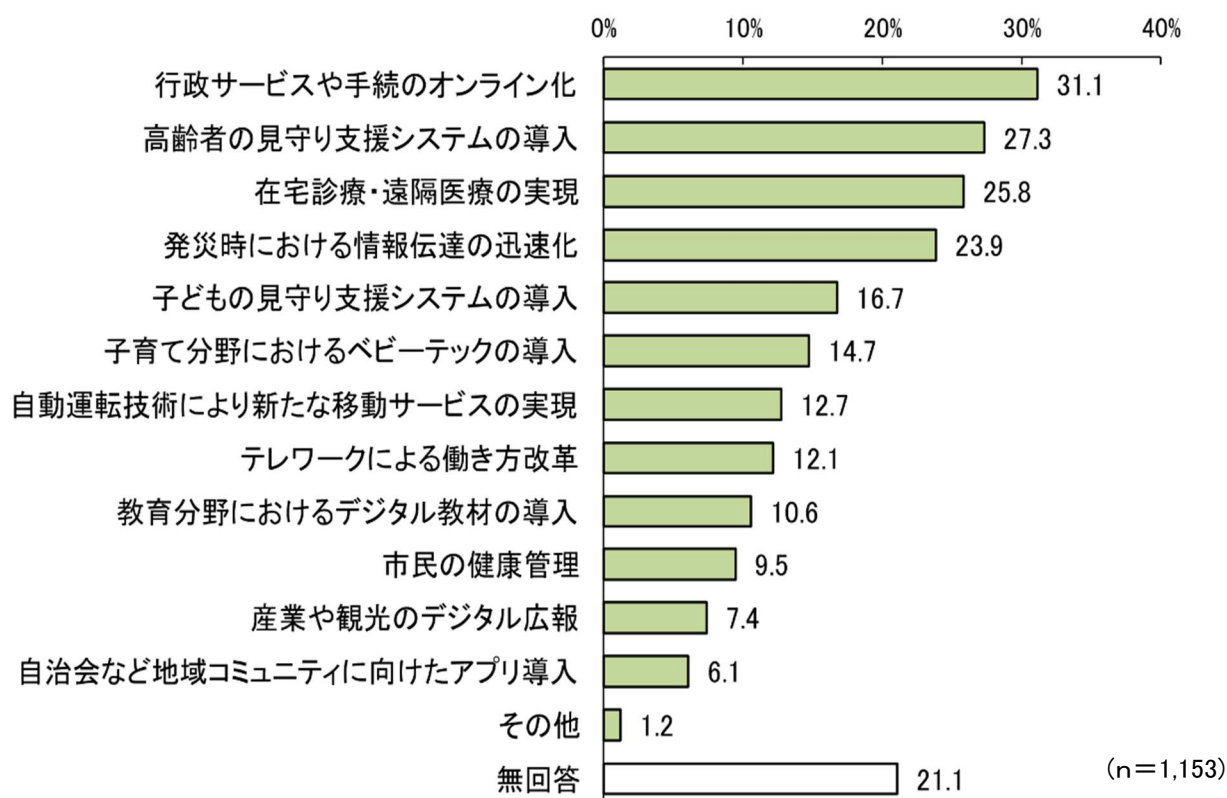
「若い世代が結婚や家庭を持つことへの希望を叶えることができるための取組」が43.5%と最も高く、次いで「医療・介護・介護予防・住まい及び生活支援が包括的に提供できる地域包括ケアの推進」が36.0%、「地域資源を活かした企業誘致や雇用の確保」が31.4%となっています。





デジタル技術の活用を期待する取組について、「行政サービスや手続のオンライン化」と回答する割合が最も高くなっています。

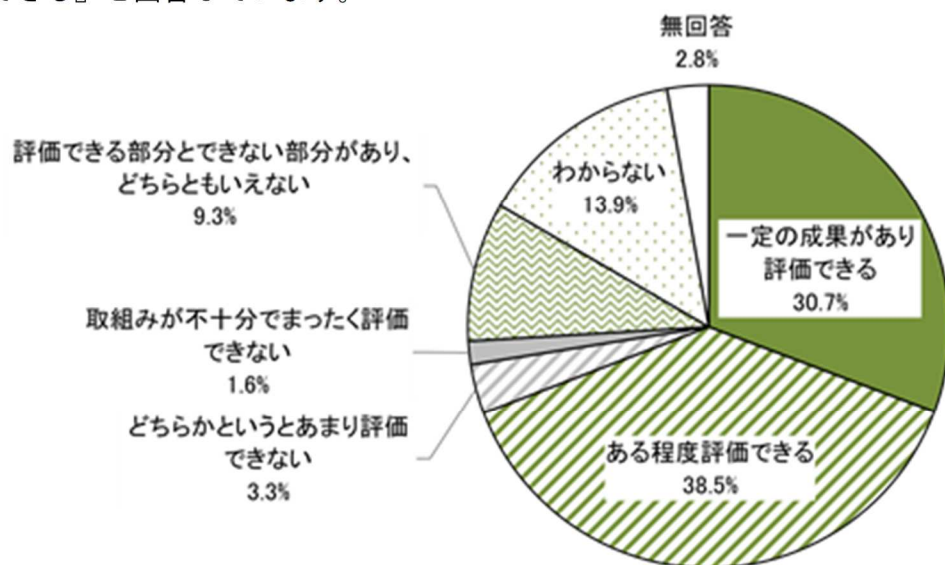
「行政サービスや手続のオンライン化」が31.1%と最も高く、次いで「高齢者の見守り支援システムの導入」が27.3%、「在宅診療・遠隔医療の実現」が25.8%となっています。高齢者に向けた取組を期待する回答の割合が高くなっています。



## ●新型コロナウイルス感染症への取組について

3年数か月にわたる島田市の新型コロナウイルス感染症への取組について、69.2%が『評価できる』と回答しました。

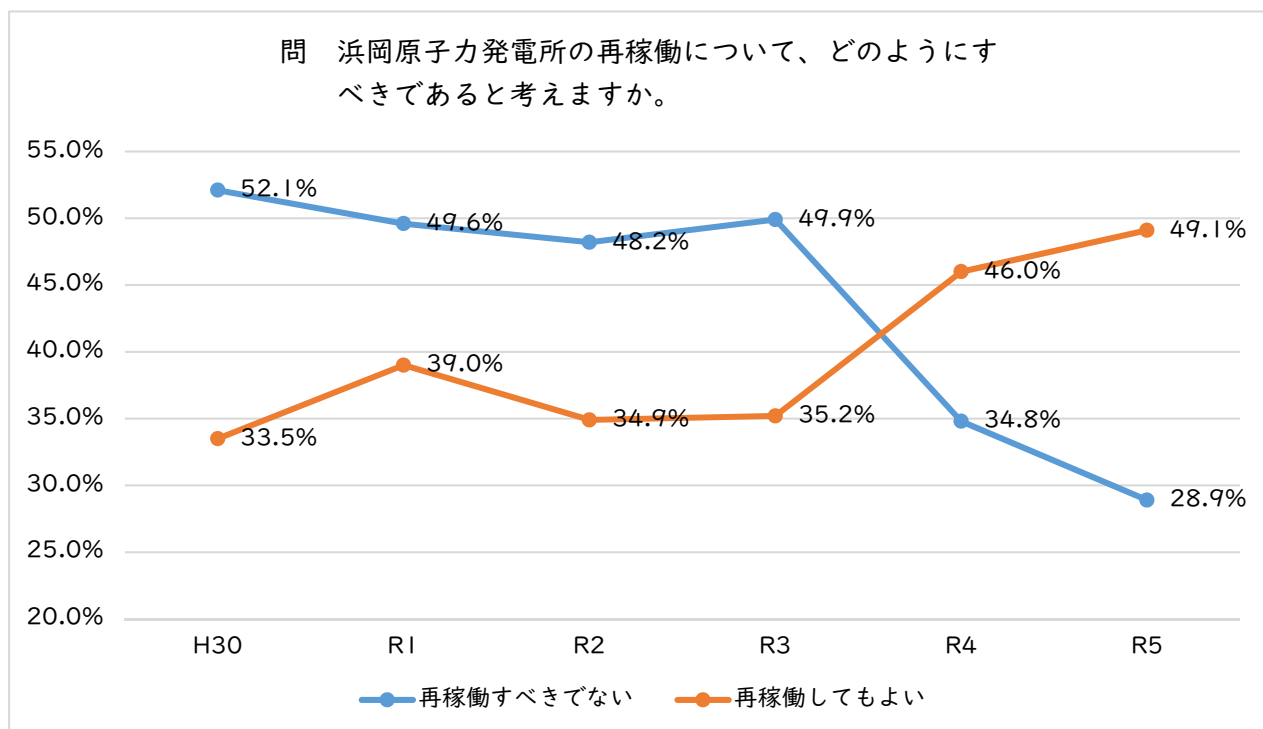
「一定の成果があり評価できる」30.7%と「ある程度評価できる」38.5%を合わせた69.2%が『評価できる』と回答しています。



## ●浜岡原子力発電所について

浜岡原子力発電所については、28.9%が『再稼働すべきでない』、49.1%が『再稼働してもよい』と回答しました。

昨年度『再稼働すべきでない』と『再稼働してもよい』の比率が逆転し、今年度も『再稼働してもよい』が3.1ポイント増加、『再稼働すべきでない』が5.9ポイント減少となっています。



## ●リニア中央新幹線の建設工事について

建設工事に伴う大井川の流量減少予測への対策について、51.9%が『不安を感じている』と回答しました。

『不安を感じている』は、前回と比べて12.4ポイント低くなっています。一方、『不安を感じない』と回答した人は25.3%となり、前回と比べて6.3ポイント高くなっています。

